

空き家問題ゲーミフィケーションツール開発・活用事業

(ひろしま空家流通促進ネットワーク)

課題	空き家が多数あるにも関わらず利活用が進まないのは、そもそも空き家所有者や関係者が、そこにある空き家を問題として認識していなかったり、積極的に表舞台に出す意識がないことがひとつの原因になっている。
目的	親しみやすいゲーム形式の意識啓発ツールを制作し、所有者や関係者が、空き家を次の活用に向けて積極的に考えるきっかけづくりに取り組む。 また、支援体制の充実や相談受付の拡充にも取り組み、空き家問題が実際に解決できるスキームの構築を目指す。
取組内容	○意識啓発用ゲームツール「イエカツ」の開発 空き家の持ち主や、これから持ち主になりそうな人、自分の家が空き屋になりそうな人をターゲットとして、長く空き家にしない方がよいこと、相続から売却までの基本的な流れを知ることで、自分のことについても動き始めるきっかけとなることを狙った。 ○空き家ワンストップサービス体制の構築 勉強会や視察を通して、知見の蓄積や協力を仰ぐネットワークづくり、団体の基本的な体制づくりを行った。その他、ホームページの整備など。
成果	1 すごろく形式のゲームツールの完成 2 団体の体制づくり 3 地域自治組織との連携の開始(セミナーの開催、空き家リスト作成の協働など)



- ・すごろく形式
- ・さまざまなトラブルやその解決方法を学ぶ。
- ・より知識を深めるための「まなびガイド」も制作。持ち帰りも可能。



空き家解決すごろく
イエカツ

今後の活用方法

- ・ゲームを使ったセミナーの開催
- ・ゲーム本体の貸し出し
- ・ファシリテーションの指導
- ・ホームページで内容の公開
(公開情報をもとに自作は可能)

課題

- ・ファシリテーション内容の充実
- ・個別相談対応への人材育成、人員確保